

くしまっ子

全国目指し 高円宮杯九州リーグ1位を目指す

8月に奈良県で開催された第50回全国中学校サッカー大会で日章学園中学校が2連覇4度目の優勝を果たしました。その中で選手として出場し、優勝に貢献した本市出身の金川羅彌くん、直野藍琉くん。金川くんはサッカー少年団の監督である祖父の影響で、直野くんは父親がサッカーをしていた影響で、それぞれサッカーを始めます。小学校時代は2人とも福島サッカースポーツ少年団に所属し、その後日章学園中学校に進学。現在週6日の



チームのみんなど

一蹴入魂!

やったぜ!



30. 直野 藍琉くん(左)
金川 羅彌くん(右)

日章学園中学校3年生。福島地区出身。第50回全国中学校サッカー大会に2人とも出場し、全国制覇を果たす。

練習で日々サッカーに打ち込んでいます。金川くんは、中盤のボランチで攻守のバランスを保つ重要なポジションを担っており、また、キャプテンとしてチームをまとめています。直野くんはキーパーで守備の最後の砦として、また、攻撃としてのフォワードも務めており、攻守どちらの面も兼ね備えています。

12月に開催される全国大会、高円宮杯U-15に向けた九州リーグ戦が各日開催されており、現在練習に力が入ります。練習から誰にも負けない気持ちで、個人としてもチームとしても常に高みを目指していきたい(金川くん)。セービングなどの守備の技術面の課題を練習で克服し、チームに貢献していきたい(直野くん)。九州リーグを1位で通過し全国大会出場に向けて、2人はさらなる飛躍を誓います。



おがやせ(俺の野菜)

こだわって作った美味しい野菜を届ける

「おがやせ」というロゴの付いた野菜が販売されているのをご存知でしょうか？市内の若手農家グループ「TAHATA」が新鮮野菜ブランドとして誕生させ、昨年1月から出荷を始めました。代表を務めているのは、ニンジン農家の鶴田康太郎さん。TAHATAは北方地区の若手農家が飲み会などで集まった際に、「こだわって生産した串間の美味しい野菜を、他とは違う形で自分たちで届けたい」と話しが盛り上がり、2015年7月に設立されます。現在会員数9名で、同地区の30代農家を中心に構成されており、作っている野菜はきゅうりやパプリカ、ピーマン、フルーツトマトなどさまざまです。団体の活動としては、串間、日南市内のスーパーやJR宮崎駅のアテナショップ「チャレンジくしま」などに商品を卸したり、インターネットでの販売が中心。その他、即売会や旅行会社などのツアーに協力し、宣伝も兼ねて野菜収穫体験を受け入れるなどイベントにも積極的に参加しています。「グループを立ち上げて実際に活動するまでの道のりが長かった」と鶴田さん。まずグループ名を決めることから始まり、串間弁で俺の野菜という意味のブランド名や生産している野菜のシルエットを組み合

わせたロゴ、ホームページの製作など、商品出荷までに約2年間の準備期間を費やします。「メンバーそれぞれが農産物に対して強い思いを持っているので、みんなでアイデアを出しながら納得するまでとことん話し合いを重ねました。こだわりの持つ決めたブランド名のおがやせが、市外の人から印象的で興味を持ってもらえることが多く、広く知られるようになってきており手ごたえを感じています。『おがやせの野菜買っています』と言ってもらえるのが嬉しいです。また、自分たちで生産から販売まで行っているからこそ、良いことも悪いこともすべて帰ってくる。常に意識を高く持ちながら活動できているとやりがいも感じている」と鶴田さん。昨年からは、野菜を加工した新商品のふりかけを開発しており、来年度の販売に向けて試行錯誤を重ねています。「今後も新たな商品作りやさまざまな工夫を重ねていき、おがやせの名をもっと広げていきたい」とまた、「同じ志を持った方がいれば、ぜひ一緒に活動したい」とさらなる活動充実のため、メンバーも随時募集しています。今後は道の駅での販売を視野に、最終的にはブランドの全国展開に向けてこれからもこだわった野菜作りは続きます。



串間で活躍する人を
紹介します
きらめき 図鑑
kirameki

地域おこし協力隊

活動日記

vol.30 都井岬で「忘れ物」発見

ふくしま あやの
福島 綾乃さん



自分の不注意で忘れ物をしてしまうことは誰にでもあることです。私は人の忘れ物に気が付いたとき「もっとここにいたかったのかな?」と思うことにしています。

今年の都井岬火まつりの時でした。撮影のため会場から少し離れたところにスタンバイしていると、私に並んでカメラをセットし始

めたご夫婦がいました。「素敵だなあ」と思いつつ、初めて出会ったご夫婦とカメラ談議に花を咲かせました。準備も万端で奥さんお手製のお弁当も持参。私も旬の果物とコーヒーをごちそうになりました。しかし柱松の1時間前になると大粒の雨が降り出したのです。これは困った。カメラがダメになってしまう。ご夫婦がセットしていたカメラを早々に片付け、都井岬を後にされました。

その後、私はなんとか撮影を続行し、今年の火まつりを収めることができました。が、さつきまでご夫婦がいた場所にポツンと魔法瓶。「これは奥さんが持っていたボトルだ」。突然の雨でカメラを守るのに必死だったので、私が持っている機材よりもはるかに

立派なカメラだったので、忘れ物があっても仕方がない。「明日届けることにしよう。それに、今日撮れた写真の話や火まつりの様子も知りたいかもしれない。だって、忘れ物はまだそこにいたかった証拠だから」。翌日、ご主人が言っていた隣の街の国道沿いにある小さなお店まで届けに行きました。

お店の中から出てきた奥さんは「あきらめていたのよ! 嬉しいわ!」と喜んでくれました。私が魔法瓶を届けに来るとは想像もしていなかったそうです。昨日の火まつりの様子と、また会えるのを楽しみにしていることを伝えて、私は国道448号へ車をゆっくり走らせました。

つた こうたろう
鶴田 康太郎さん
(北方地区・徳間)

ニンジン農家であり、串間野菜生産グループ「TAHATA」代表。趣味は野球。



新鮮野菜ブランド「おがやせ」のロゴ



販売している野菜